

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	麦久保園	施設番号	K-152
-----	------	------	-------

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和7年度)	改善計画 (令和7年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和8年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定があつた場合の実施状況 (年 月 日時点)
人材育成・評価制度と処遇連動の具体化	チューター制度や OODA ミーティングなど、人材育成の仕組みは整備されているものの、個人別育成計画の整備や職員のやりがい・動機付けへの取り組み、役職業務の負担によるキャリアアップ意欲の低下などの課題がある。また、評価制度と処遇の連動が十分に具体化されておらず、評価が成長実感につながりにくい状況となっている。これらを踏まえ、評価・育成・処遇を連動させた人事制度の確立が課題である。	年2回の職員面談と評価シートを活用した人事評価を実施し、その結果を賞与・昇給へ連動させるとともに、自己研鑽や役割に応じたインセンティブの導入を行う。また、非常勤職員等級表を整備する。また、キャリア層・サブリーダー層・リーダー層別の研修体系および一般職員向けのケア向上研修を実施し、人材育成の充実を図る。	1 実施済み 2 実施予定 (令和年月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
ICT活用と業務効率化によるQOL向上	ICTの活用や記録確認方法の明確化、情報伝達・共有体制の強化が課題となっている。業務対応に時間を要することで、利用者一人ひとりへの個別的な関わりの時間が減少していることも課題である。そのため、今後は業務の効率化と情報共有の改善を図り、利用者への個別的な支援に充てる時間を確保していくことが求められている。	日勤リーダーマニュアルおよび記録の書き方マニュアルを作成し、記録点検ルールを明文化。また、眠り CONNECT や業務内通信機器の導入を進めるとともに、ICT活用研修を実施し業務効率化を図る。さらに、LIFEデータの活用による個別支援の強化と、OODAミーティングの成果を可視化することで、利用者への支援の質の向上につなげていく。	1 実施済み 2 実施予定 (年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
施設環境の清潔感・安全性向上	施設環境の清潔感の向上や車椅子の整備の徹底、見える清潔感の強化が課題となっている。また、施設の構造上のハード面の課題もあり、安全で清潔な環境を維持するための取り組みをより明確にし、点検や管理状況を可視化する仕組みの整備が必要である。	改善計画として、環境ラウンドチェック機能を導入し、施設内の清潔や安全の状況を定期的に確認できる体制を整備する。また、車椅子清掃を業務スケジュールに組み込み、計画的に実施することで整備の徹底を図る。さらに、感染対策マニュアルの再整備を行い、職員への周知を進めるとともに、これらの取り組みを施設の重点目標として位置付け、継続的な改善につなげていく。	1 実施済み 2 実施予定 (年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。